

これまでの市民参加で、緑の中での憩いや、イベントによる賑わい・交流などに期待する声が多く寄せられました。多くの人が集まる広場として、安全面や周辺環境に配慮し検討を進めています。



① 低めの植栽帯を設け、見通しを良くします（衝突防止）。

⑥ 動線が交差するところは、見通しを良くします（衝突防止）。

⑦ 歩行者専用とし、歩行者やひろば利用者の安全に配慮します。

② ひろば利用者による飛び出し防止のため、樹木を配置した空間を設け、鉄道や通路からの距離を確保します。

⑧ 現状の地盤面には高低差がありますが、バリアフリーに配慮し整備後は緩やかな勾配にします。

① ひろばを西側に向かって開くことにより、カルチャー・サイト、パーク・サイト双方の活動が感じられ、互いに興味関心を喚起できるよう見通しを確保します。また、鉄道利用者にも興味関心を持ってもらうことが期待できるとともに、ひろば利用者は電車が通る風景を楽しむことができます。

① 多くの人を通る想定をしているため、樹木を配置した空間を設けることにより、隣地からの距離を確保します。

③ 通路の幅を広げ、歩行者の安全に配慮します。

② 目隠しフェンスの設置により、隣地に対しプライバシーに配慮します。

『カルチャー・サイト』

④ 歩行者優先（自転車徐行・バイク不可）とし、歩行者やひろば利用者の安全に配慮します。

③ 別棟を隣地に対し現在の建物（健康福祉事務センター）に近い位置関係とし、周囲に与える環境の変化をなるべく抑えるとともに、別棟がひろばからの音や視線を遮る役割を担います。

⑤ 動線が交差するところは、見通しを良くします（衝突防止）。

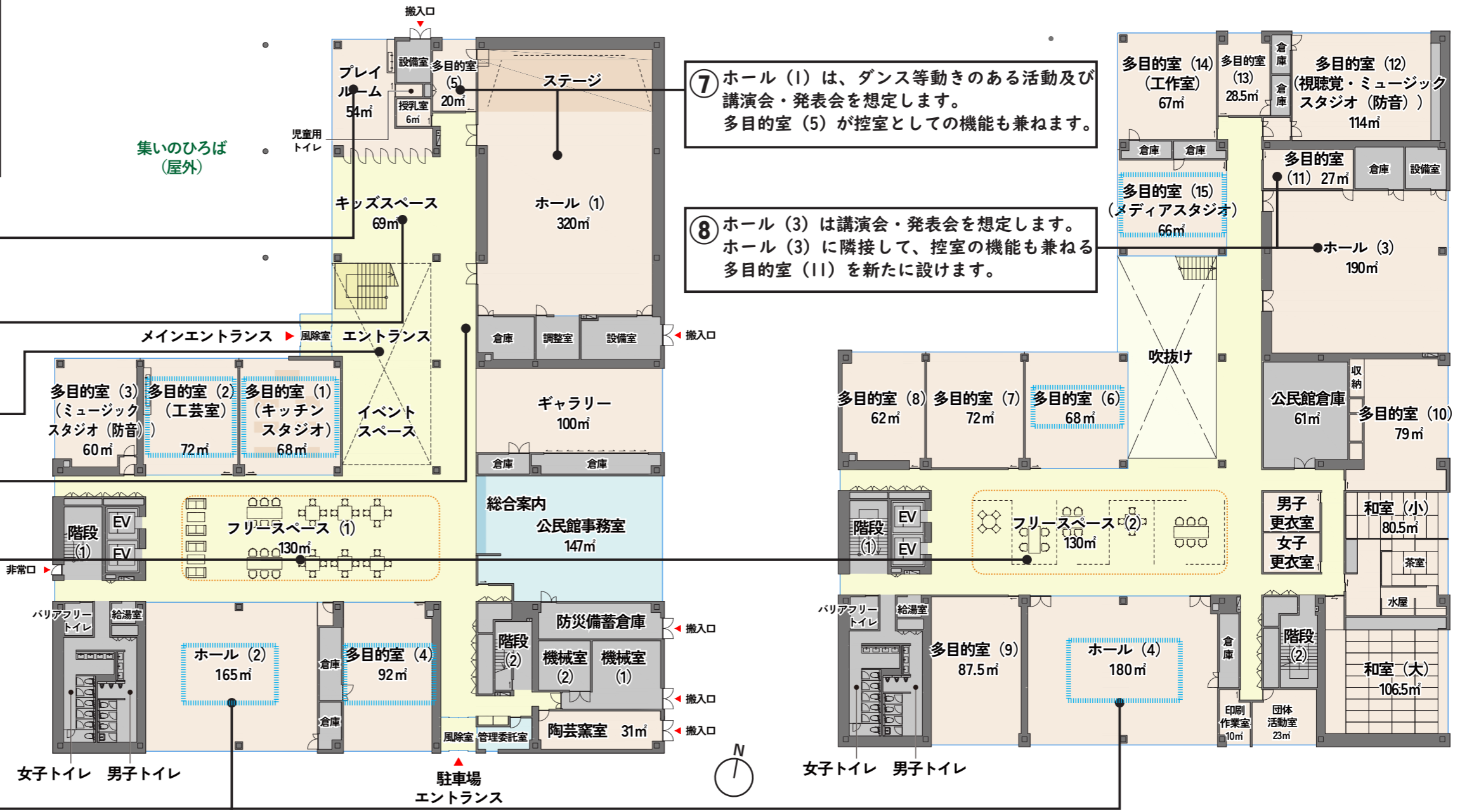
凡例

- 安全面
- 周辺配慮
- 興味関心

# 新建物設計案（令和5年5月時点）

市民参加でいただいた意見等を踏まえ、検討を進めています。（ただし、事業費の都合により、今後変更が生じる可能性があります。）  
若い世代も利用しやすいイメージを持てるよう、各室の名称について変更を検討します。

- ① プレイルームについては、キッズスペースとの開口部を広げ、一体的な利用にも対応しやすいようにします。
- ② キッズスペースは、子どもを遊ばせながら親が休憩できるような備品等を配置します。
- ③ エントランスの吹き抜け階段は、メインエントランスと、階段のたまり場空間が重なるため、階段の立ち上げ位置と階段形状を変更します。
- ④ エントランス付近には、各部屋の利用状況表示パネルを設置します。
- ⑤ フリースペース周辺等は、安全に通行できるような動線を確保します。また、自習・勉強がしやすい机配置等をします。
- ⑥ ホール（2）（4）は、フリースペースから活動が見える位置にあるため、ガラス張りにし、動きのある活動（ダンス等）を想定します。



⑦ ホール（1）は、ダンス等動きのある活動及び講演会・発表会を想定します。多目的室（5）が控室としての機能も兼ねます。

⑧ ホール（3）は講演会・発表会を想定します。ホール（3）に隣接して、控室の機能も兼ねる多目的室（11）を新たに設けます。

1F  
延床面積：2157㎡

2F  
延床面積：2024㎡

**【ユニバーサルデザイン・バリアフリー】**

- ・施設内には光警報装置を設置します。
- ・バリアフリートイレ（1階から5階までの各階に配置）のうち数か所には、ユニバーサルシートやオストメイトを設置します。

**【ホール・多目的室】**

- ・ホールの稼働率が高いのに対し、控室は稼働率が非常に低いため、多目的室と兼ねる運用とします。
- ・ホールは各々活動しやすい床材とします。
- ・ホールや多目的室の複数の部屋に鏡を設置します。
- ・ピアノは複数台を設置します。
- ・ガラス張りではない部屋を2つ増やします。

※本資料時点ではガラス張り7部屋、ガラス張り以外17部屋。

[ガラス張りの部屋]